



## 事業完成年度を迎えて

■昭和35年度は愛知用水事業にとって、最終計画年度であると同時に、一方工事面においてはその最盛期でもあります。いわゆる胸つき八丁の苦しい難所を征服して、愛知用水は今や「全工事完成」というかがやかしい山頂に至らんとしております。

■ふり返ってみますと、この事業は当初の予想をはるかに越えたさまざまな困難と障害に直面しながら、よくこれを切り抜けてきました。先駆者の当然たどるべき道とはいいいながら、たとえば着工遅延をめぐるきびしい世論の風当りなど、今でもまざまざと想起することができくらいです。

幸いに事業の現況からみて、来年夏の全線通水はほとんど確実であります。国土開発史上に『愛知用水』の栄えある一頁を書き加える日も目前に迫っているといえましょう。

■この事業の視察に訪れた内外の公私人や団体は、まことにおびただしい数に上っておりますが、多くの人は実際に工事現場をみてまわって、はじめて愛知用水のスケールの大きさとそのめざましい工事速度に驚嘆しております。

とくに後進未開発国といわれる東南アジア諸国からの視察者は、これらの国々にとって国土開発がきわめて重要な国策であるだけに、その絶好のサンプルとも目される愛知用水に並々ならぬ関心を示し、経済的あるいは技術的観点から愛知用水計画を検討し視察する真剣な態度にも、それがうかがわれてたいへん印象的でした。

■愛知用水ほどの大規模開発計画が今後もとり上げられるかどうかはわかりませんが、それはともかくとして愛知用水が実現した注目すべき諸特色、すなわち多目的の広域開発、事業の短期完成、海外の優秀な技術の積極的導入などは、これから着手される開発事業に力強い励ましと明るい希望を投げかけるにちがいないことを確信いたします。また愛知用水完成の重要な意義も、一つにはここにあるといっていると思います。

「終りよければすべてよし」一公団は今後も全機能をあげて、事業完遂という最終目標に最善の努力を傾注してまいります。この際内外各方面の一層の御支援と御協力をあらためてお願い申し上げます。

(カット写真は知多町八幡の愛水会館前庭に建立されている愛知用水観音像)

### 目 次

牧 尾 ダ ム	1
幹 線 水 路	5
開 水 路	6
ト ン ネ ル	8
噴 泉	10
サ イ ホ ン	11
調 整 池 ダ ム	14
三 好 池 ダ ム	16
支 線 水 路	18
開 渠	20
耕 地 整 備	22
ニュースフラッシュ	23
主要工事一覽	24

愛知用水グラフ 第3号

非 売 品

発 行 愛 知 用 水 公 団

名古屋市中区南外堀町6の1

(電話 代表 23 7 5 4 1)

印刷 弘益印刷株式会社